

実践団体情報

| | |
|-------------|--|
| 記入日 | 西暦 2021 年 1 月 14 日 (2020 年度のチャレンジプラン) |
| 実践団体名 | 愛媛県立宇和島東高等学校 |
| 代表者名 | 松本 耕太郎 |
| プラン全体のタイトル | 「学ぶ」から「教える」「育てる」へ 小さな“防災士”がつなぐ地域の防災 |
| 電話番号 | 0895-22-0261 |
| メールアドレス | Kubochi-ikuya@school.esnet.ed.jp |
| 実践団体の説明 | 愛媛県南予地方に立地し、創立 124 年目を迎えた伝統校で、全日制普通科・理数科・商業科、定時制が設置され、スーパーサイエンスハイスクール SSH 事業の活動も盛んである。質の高い文武両道をモットーに部活動に励み、文化部・運動部とも多くの部が全国大会で活躍している。 |
| 所属メンバー | (代表) 校長：松本 耕太郎 (担当) 教諭：清家 祥 , 窪地 育哉 |
| 活動地域 | 愛媛県宇和島市 |
| 活動開始時期・結成時期 | (西暦) 2019 年 |
| 過去の活動履歴・受賞歴 | 特になし |
| プラン全体の概要 | 2019 年度の防災教育チャレンジプランにおいて、平成 30 年 7 月の西日本豪雨で経験した避難所生活・避難所運営をテーマとし、その体験を体系化した高校生の学びを小中学生に伝えた。学びの場を発展させて、『高校生が学ぶだけでなく、小中学生にその学びを広げる』ことに挑戦し、地域全体の防災力向上に努めた。 2020 年度のプランでは引き続きその実践を計画していたが、コロナ禍にあっては他校と合同での行事の実施が困難を極め、宇和島東高校を中心とする防災コンソーシアムを設置することを計画し (10 月)、その実践を行っている。 |

プランの年間活動記録

| | プランの立案と調整 | 活動準備 | 実践活動 |
|-----|--------------------|-----------------------------------|--|
| 4月 | | | |
| 5月 | | | |
| 6月 | | 事前復興 HR 活動 | |
| 7月 | | 事前復興 HR 活動 | 事前復興デザイン研究 |
| 8月 | 事前復興 HR 活動 | 事前復興 HR 活動 | 事前復興デザイン研究 |
| 9月 | 防災コンソーシアム U-BOC 設立 | 事前復興 HR 活動 | 防災学習 事前復興 HR 活動 事前復興デザイン研究 |
| 10月 | 福島高校とのオンライン対談 | 福島高校とのオンライン対談 | 事前復興 HR 活動 事前復興デザイン研究 |
| 11月 | 防災学習会 | 福島高校とのオンライン対談 防災学習会 | 福島高校とのオンライン対談 事前復興デザイン研究 |
| 12月 | 事前復興フォーラム参加 | 福島高校とのオンライン対談 防災学習会 | 事前復興デザイン研究 復興デザイン会議参加 福島高校とのオンライン対談 防災学習会 |
| 1月 | | 福島高校とのオンライン対談 | 事前復興デザイン研究 U-BOC 設立 |
| 2月 | | U-BOC Base 設置および周知 事前復興フォーラム参加 | 事前復興デザイン研究 U-BOC Base 設置および周知 福島高校とのオンライン対談 |
| 3月 | | 事前復興フォーラム参加 | 事前復興フォーラム参加 |

| | |
|-----------------|---|
| プラン全体の反省点・課題・感想 | <p>コロナ禍の中、前年度実施したことのほとんどが実施できないという結果となった。従来、他の高校や関係機関との日程調整が大変難しい点であったが、「学習機会の確保」や「校外の児童生徒との接触を避ける」といった観点から、今年度はさらに難しく、プランの大幅な変更を余儀なくされたのが大変残念である。</p> <p>一方で、前年度の実践により得られた地域や他校、団体、関係者との繋がりを生かした実践を行うことができた。</p> |
|-----------------|---|

| | |
|----------------|--|
| <p>今後の活動予定</p> | <p>宇和島防災コンソーシアム（U-BOC）の活動を充実させたい。宇和島市中央公民館の U-BOC Base の展示物を充実させ、市内の小・中・高等学校との連携を図り、防災の意識の高いまちづくりに貢献したい。</p> |
|----------------|--|

実践したプランの内容と成果

| | |
|-----------|--|
| 記入日 | 西暦 2021 年 1 月 14 日 (2020 年度のチャレンジプラン) |
| 実践団体名 | 愛媛県立宇和島東高等学校 |
| 実践番号 | 1 |
| タイトル | 「学ぶ」から「教える」「育てる」へ 小さな“防災士”がつなぐ地域の防災 |
| 実践担当者のお名前 | 清家 祥 、 窪地 育哉 |

| | |
|--------------|--|
| 実践にかかった金額 | 円 15 万円未満 |
| 実践の準備にかかった時間 | ○事前復興 HR 活動・・・10 時間 ○事前復興デザイン研究・・・5 時間 ○福島高校とのオンライン対談・・・14 時間 ○防災学習会・・・10 時間 ○コンソーシアムの設立・・・10 時間 |
| 実践活動を実施した日時 | ○事前復興 HR 活動 9 月 18 日【50 分】 9 月 24 日【50 分】 10 月 16 日【50 分】 10 月 19 日【50 分】 ○事前復興デザイン研究 7 月 2,9,30 日、9 月 10,24 日、10 月 1,15,22,29 日、 11 月 5,12,19 日、12 月 10,17 日、1 月 14,21,28 日 【100 分間 (50 分授業×2 コマ)】 8 月 11 日【150 分間】 11 月 3 日【150 分間】 ○福島高校とのオンライン対談 11 月 8 日【およそ 2 時間】 12 月 8 日【およそ 2 時間】 ○防災学習会 12 月 2 日【60 分】 ○コンソーシアムの設立 |

| | |
|---------------------------------|--|
| | 12月25日【60分】 |
| 実践の所要時間 | 42時間40分 |
| 実践の運営側で動いた人の人数 | 約20名 |
| 防災教育の対象者の属性 | 高校生, 小学生, 中学生, 小中高等学校教職員 |
| 防災教育の対象者の人数 | 約3000人 (宇和島市文京区にある学校の総児童・生徒数) |
| 実践を行った都道府県と市区町村 | 愛媛県宇和島市 |
| 実践を行った具体的な場所 例: ○○小学校体育館 | 愛媛県立宇和島東高等学校校内 コスモスホール三間 宇和島市中央公民館 |
| ★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等 | |

| | | |
|-----------------|---|-----|
| 達成目標 | 高校生が学習者として終わることなく、学びを発信する場を作り、実践していくことで、主体的・協働的な学びの実践が地域の中で育まれていくことを期待した。「防災」は地域が抱える大きな課題の一つであることから、地域の中での協働的な学びが十分実現可能であると考えた。 | |
| どの力を身につけようとしたか？ | 知識・技能 | 大いに |
| | 思考力・判断力・表現力 | 大いに |
| | 学びに向かう力・人間性 | 大いに |

| | |
|----------------|--|
| <p>実践内容・方法</p> | <p>○事前復興 HR 活動 2 年生理数科における HR 活動</p> <p>【1 時限目】事前学習：発表会</p> <p>(1)自宅が被災する可能性を想像する 10 分</p> <p>(2)避難から復興までの生活を想像する 25 分</p> <p>(3) ディスカッションの予行 10 分</p> <p>【2 時限目】ロールプレイング・ディスカッション 1 ディスカッション（1）～生活再建の意向～</p> <p>①テーマ：あなたは、このまちに住み続ける？ 5 分</p> <p>②住民の立場による意向と理由を考える 25 分</p> <p>【3 時限目】ロールプレイング・ディスカッション 2 ディスカッション（2）～復興計画の合意～</p> <p>①テーマ：まちの復興計画をどうする？ 2 分</p> <p>②復興計画案の説明 3 分</p> <p>③住民の立場による賛否と理由を考える 25 分</p> <p>④よりよい「選択」と考える視点について 5 分</p> <p>⑤賛否に対してのディスカッション 15 分</p> <p>○事前復興デザイン研究 宇和島東高校防災地理部での課題研究 宇和島市の町の形成プロセスについて調査し、賑わいのある商店街， 災害時に機能できる商店街，復興の拠点となれる商店街の姿について 研究した。復興デザイン会議第 2 回全国大会で発表を行った。</p> <p>○福島高校とのオンライン対談 福島県立福島高等学校とのオンラインミーティングを行った。</p> <p>10 月 30 日 顔合わせ</p> <p>11 月 8 日 第 1 回オンライン対談</p> |
|----------------|--|

平成30年7月豪雨災害のことを中心にディスカッションを行った。



12月8日 第2回オンライン対談

東日本大震災のことを中心にディスカッションを行った。

2月中旬 第3回オンラインイベント予定

○防災学習会

宇和島東高校にて、防災委員会による南海トラフを震源とする巨大地震からの避難についての学習会を行った。

地震発生時の行動について、津波からの避難行動について、地震発生直後に予想される状況についてなどの発表を行った。

○コンソーシアムの設立

宇和島防災コンソーシアム（U-BOC）を設立した。宇和島市中央公民館に展示スペースを確保し、展示物を設置するとともに、市内の小学校・中学校・高等学校にその広報活動を行うことを計画している。

| | | |
|-----------------------|---|------------|
| <p>得られた成果</p> | <p>今年度の学習では、以前から少しずつ取り組んできた事前復興をキーワードにした課題研究や HR 活動など、防災学習を深化させることができたと考えている。防災学習会やコンソーシアム設立における生徒の活動を通して主体的に学ぶ態度を醸成することにも取り組むことができた。</p> | |
| <p>どのくらい身につきましたか？</p> | <p>知識・技能</p> | <p>大いに</p> |
| | <p>思考力・判断力・表現力</p> | <p>大いに</p> |
| | <p>学びに向かう力・人間性</p> | <p>大いに</p> |
| <p>課題・苦勞・工夫</p> | <p>担当教員への負担が大きいのので、誰にでも実践できる防災学習の形を</p> | |

| | |
|--|-------------------|
| | 作らなければならないと感じている。 |
|--|-------------------|

| ★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について | |
|--------------------------------|---|
| 関係者の名前・団体名 | |
| 関係者の説明 | <p>愛媛県教育委員会（説明省略）</p> <p>宇和島市教育委員会（説明省略）</p> <p>宇和島市役所危機管理課（説明省略）</p> <p>宇和島市 PTA 連合（説明省略）</p> <p>自衛隊愛媛地方協力本部（説明省略）</p> <p>NPO 法人日本防災士会愛媛県支部南予地区ブロック（説明省略）</p> <p>宇和島市消防団（説明省略）</p> <p>NPO 法人うわじまグランマ</p> <p>本校の保護者、PTA 関係者で作っている団体。西日本豪雨災害時に炊き出しを行ったりしたところから結成され、防災学習をはじめとして子ども食堂の実施、食品ロスの学習会など、その活動実績は多岐にわたる。</p> <p>愛媛大学（説明省略）</p> <p>愛媛県立吉田高等学校（説明省略）</p> <p>愛媛県立三間高等学校（説明省略）</p> <p>愛媛県立北宇和高等学校（説明省略）</p> <p>愛媛県立宇和島水産高等学校（説明省略）</p> <p>愛媛県立宇和島南中等教育学校（説明省略）</p> <p>愛媛県立津島高等学校（説明省略）</p> |
| 関係者の連絡先 | <p>愛媛県教育委員会高校教育課 089-912-2950</p> <p>宇和島市教育委員会 0895-24-1111(代表)</p> <p>宇和島市役所危機管理課 0895-49-7006</p> <p>宇和島市 PTA 連合 0895-22-5058</p> <p>自衛隊愛媛地方協力本部 089-941-8383</p> <p>NPO 法人うわじまグランマ 0895-22-0326</p> <p>愛媛大学 089-927-9000</p> <p>愛媛県立吉田高等学校 0895-52-0565</p> |

| | |
|--|---|
| | 愛媛県立三間高等学校 0895-58-2031 愛媛県立北宇和高等学校 0895-45-1241 愛媛県立宇和島水産高等学校 0895-22-6575 愛媛県立宇和島南中等教育学校 0895-22-0262 愛媛県立津島高等学校 0895-32-2304 |
|--|---|

| | |
|-----------------------------------|----------------------|
| ★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ | |
| 伝えたい相手 | 全国民の皆さん |
| 伝えたい内容 | 愛媛県南予地方の高校生が頑張っています！ |